

8月の住民説明会での意見集約について

1. 住民説明会（8/25）の目的

- 計画の実効性を高めるために、地域住民の意見を反映した計画づくりを推進する。
- とくに、地域別まちづくり方針（地域別構想）を検討するにあたり、地域に精通している住民の皆さんのご意見を反映するため、住民説明会を行う。

2. 当日の説明の流れ

- ① 都市計画マスタープランとは
- ② これまでの検討経緯の共有
- ③ 玉名市都市計画マスタープラン 『全体構想』の共有
- ④ 地域ごとの現況整理、今後の方向性についての共有
- ⑤ 『地域別まちづくり方針（地域別構想）』骨子案の共有

3. 地域住民の意見集約について

- 当日上記内容についてご説明をし、質疑応答やご意見を頂いた後、1～2週間ほど期間を設けて、別途、「意見集約シート」にてご意見をご提出いただく。

(参考：『地域別まちづくり方針（地域別構想）』骨子案のイメージ)

地域別まちづくり方針① 北部地域(※対象地区:月瀬、石貫、三ツ川)

地域の現況

- 【地勢】**
- ・南関町、和水町と隣接する市北部に位置し、小岱山や菊池川、繁根木川などの自然的資源に恵まれたエリアとなっている
 - ・地域の大半を山林や田畑が占めており、谷あいを守る地域の主要な動線である県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道に主に集落が形成されている
- 【人口】**
- ・減少傾向
 - ・令和2年度の高齢化率は市全体よりもやや高くなっている(40.6%)。
 - ・平成27年度から令和2年度にかけて急速に高齢化が進展している
- 【産業構造】**
- ・市全体とほぼ変わらず、第1次産業・第2次産業の割合が緩やかに減少、第3次産業の割合が緩やかに増加している

地域の主要課題

- 【豊かな自然環境の保全・活用】**
- ・小岱山に連なる丘陵地をはじめとした自然的要素を後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源としてさらなる活用を図る必要がある
- 【豊かな自然環境に囲まれた居住地としての快適性の維持】**
- ・県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道の集落においては、豊かな自然環境に囲まれた、落ち着いた快適な住環境を維持する必要がある
- 【安全で安心できる暮らしの実現】**
- ・繁根木川流域における浸水被害、小岱山に連なる丘陵地における土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要がある
- 【地域資源の活用による地域コミュニティの維持・向上】**
- ・地域内に点在する数多くの歴史的資源を後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源としてさらなる活用を図る必要がある

まちづくりの方針

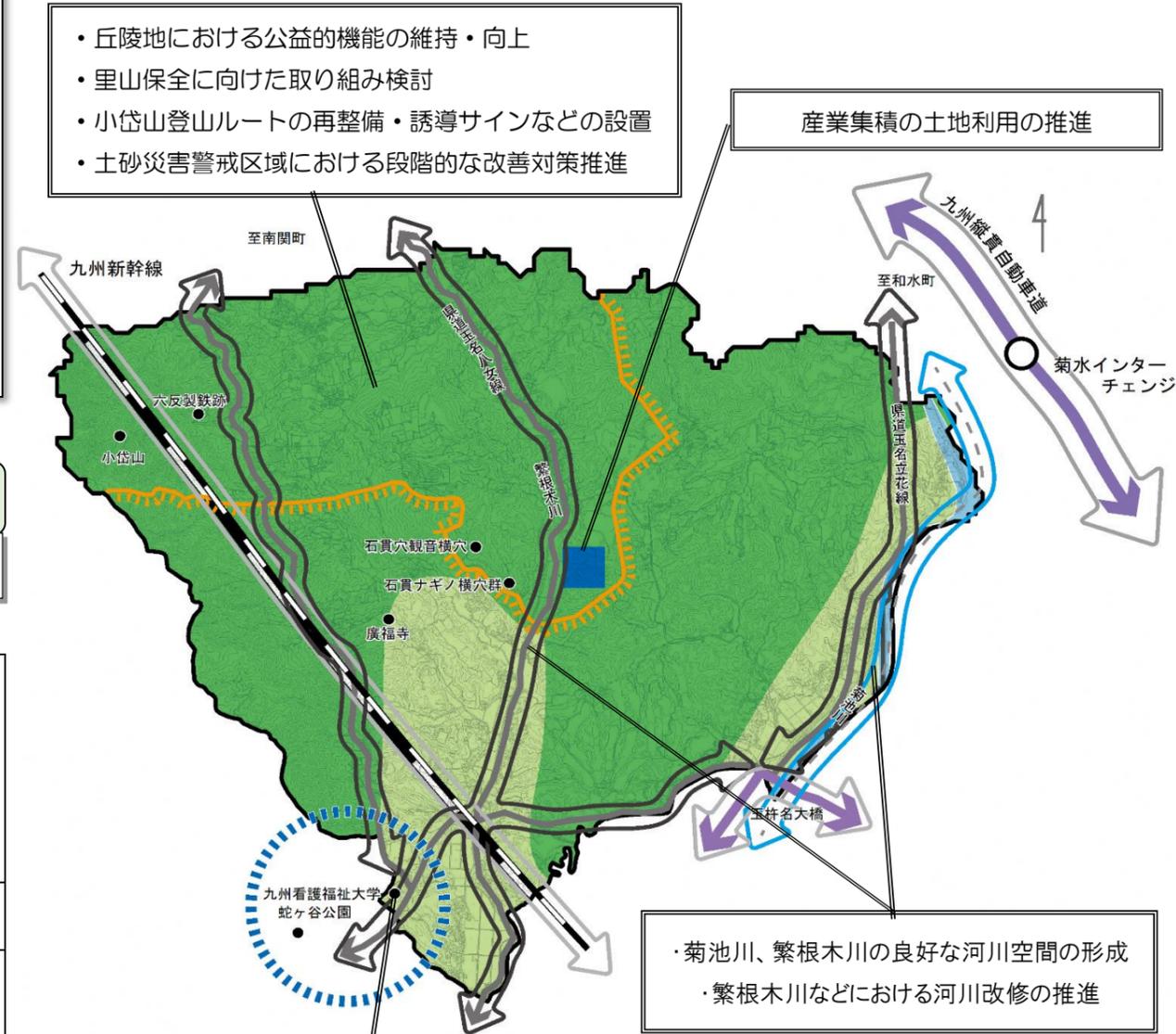
「里山のやすらぎと安心・つながりのある北部地域へ」

【豊かな自然環境に囲まれたやすらぎと安心のあるまちづくり】

小岱山に連なる丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> ○丘陵地における公益的機能(貯水機能、景観保全、生態系維持など)の維持・向上を図ります。 ○里山環境の保全に向けた維持・管理の取り組みを検討します。 ○小岱山登山ルートの再整備並びに誘導サイン・案内サインの設置等を引き続き推進します。 ○土砂災害警戒区域における段階的な改善対策の推進を図ります。
菊池川、繁根木川	<ul style="list-style-type: none"> ○本市の環境軸である菊池川や繁根木川におけるウォーキングコースなどの整備を推進します。 ○繁根木川などにおける河川改修を推進します。
その他の山林や田畑など	<ul style="list-style-type: none"> ○不法投棄の監視を徹底します。 ○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援を実施します。 ○既存農地における無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地を誘導します。 ○地域農産物などを活かした地域住民と来訪者との交流の場・機会づくりを推進します。
県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道の集落など	<ul style="list-style-type: none"> ○空家・空地の解消及び活用に向けた取り組みを実施します。 ○住環境の整備・改善(個人設置型浄化槽設置に対する補助金の交付、水道施設の計画的な更新、老朽化した公園施設の再整備)を行います。

【つながりのある地域づくり】

三ツ川地区の一部	○三ツ川地区の一部においては、現在、民間開発による産業団地の造成計画が進んでおり、今後、産業集積の土地利用が進んでいく可能性があるため、企業立地推進計画の中で地域未来投資促進法における重点促進区域として位置付けを行っていく等、検討を進めます。
三ツ川地区・石貫地区	○引き続き、情報通信環境(インターネットなど)の改善を進めます。
横穴墓、寺社や山城など	○古墳時代に造られた横穴墓や、寺社や山城など多くの歴史的資源が点在しており(例:石貫ナギノ横穴群、石貫穴観音横穴、六反製鉄跡、廣福寺)、それらの継承・活用を図ります。
九州看護福祉大学	○九州看護福祉大学は、市内外から数多くの学生が集い交流する公設民営で設立された県北唯一の大学であるとともに、生涯学習や健康推進などの様々な情報の発信や地域との交流の拠点であることから、さらなる交流機能の維持・向上を図ります。

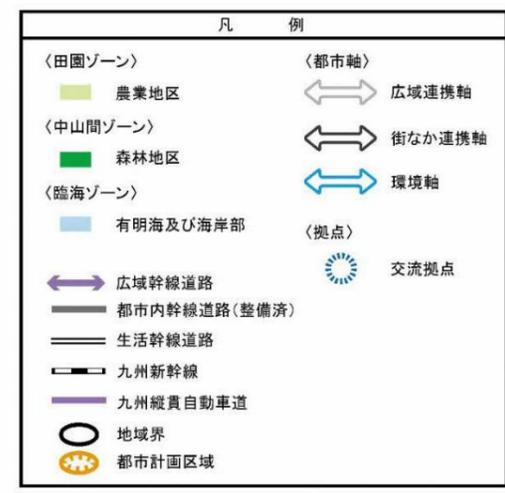


- ・丘陵地における公益的機能の維持・向上
- ・里山保全に向けた取り組み検討
- ・小岱山登山ルートの再整備・誘導サインなどの設置
- ・土砂災害警戒区域における段階的な改善対策推進

産業集積の土地利用の推進

・菊池川、繁根木川の良好な河川空間の形成
・繁根木川などにおける河川改修の推進

さらなる交流機能の維持・向上



(参考:「意見集約シート」イメージ)

8月9日(金)までに下記までご提出ください。 ※開催前の提出も可

FAX:0968-75-1221

E-mail:toshi@city.tamana.lg.jp

住民説明会 意見集約シート

氏名		
連絡先 (TEL・FAX)		
意見・質問等内容		
資料番号	該当箇所	ご意見等
記入例 資料 1	・P● ■行目□表「○○○」	○○○○

※様式がデータで必要な方は、「toshi@city.tamana.lg.jp」までメールでご連絡ください。

※様式が不足する場合は、適宜コピーをお願いします。